

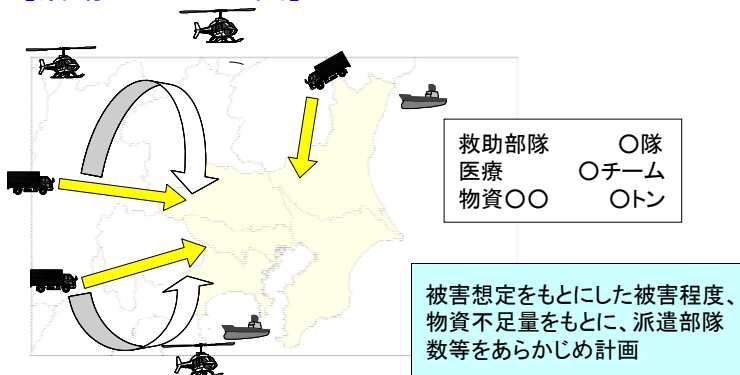
# 「首都直下地震応急対策活動要領」に基づく具体的な活動内容に係る計画(概要)

○被害想定等をもとに、**あらかじめ**地域ごとの**部隊派遣内容、物資調達内容、部隊や物資の緊急輸送ルート**等を計画

○地震発生後、被災状況等の情報がない段階から、直ちに**計画に基づき**部隊派遣や医療活動、物資調達を開始

○救助、医療等の応急対策の緊急実施。被災状況等の情報に応じ活動内容を修正

[活動のイメージ図]



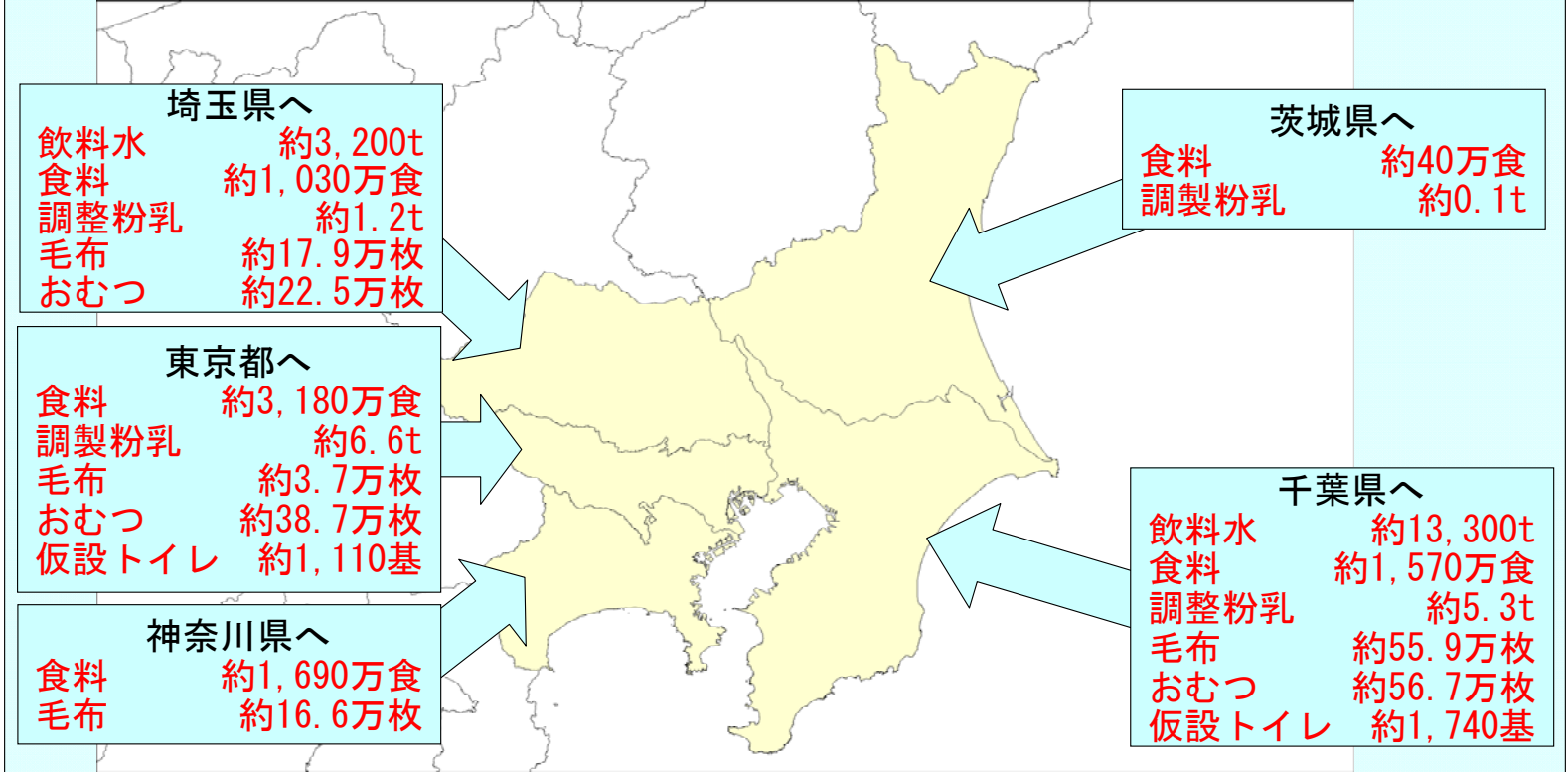
[被害想定概要]

全壊・焼失棟数	約85万棟
死者数	約1万1千人
重傷者数	約3万7千人
避難所生活者数	約460万人 (約1日後)

(冬夕方18時、風速15m/sのケース)

## 物資調達

※物資調達量は発災後1週間分



## 応援部隊の派遣

※応援部隊の派遣数は最大値

派遣規模 (合計)  
**117,240人**

**埼玉県へ**  
警察庁 530人  
消防庁 1,410人  
防衛省 4,200人  
合計 6,130人

**東京都へ**  
警察庁 16,820人  
消防庁 8,680人  
防衛省 16,400人  
合計 41,890人

**神奈川県へ**  
警察庁 730人  
消防庁 1,080人  
防衛省 8,200人  
合計 10,010人

全般支援 55,400人

**千葉県へ**  
警察庁 1,440人  
消防庁 860人  
防衛省 1,500人  
合計 3,800人

(派遣場所を予め特定しない部隊)

## 広域医療搬送

広域医療搬送は、関係都県内では対応が困難な重傷者でありかつ、広域後方医療施設へ搬送して治療することにより、救命が可能と判断される患者を対象とする。

※発災後8~72時間の間に搬送

搬送目標患者数  
**423人**

相馬原駐屯地  
松本空港  
浜松基地  
大阪国際空港  
神戸空港  
等

仙台空港  
松島基地  
北宇都宮駐屯地

航空自衛隊入間基地  
立川駐屯地  
海上自衛隊厚木基地  
海上自衛隊下総基地  
有明の丘基幹的広域防災拠点  
羽田空港

新千歳空港  
仙台空港

DMAT派遣数  
180チーム

● : 被災地内広域搬送拠点  
青字 : 医療チーム参集拠点  
赤字 : 被災地外広域搬送拠点